

避難情報を知っていますか？

災害時の「避難情報」を、5段階の警戒レベルでお知らせしています。それぞれの意味を知り、適切な対応ができるように心構えをしておきましょう。

警戒レベルとその意味		
市町村が発令	警戒レベル5 緊急安全確保	既に災害が発生又は切迫している状況。 命の危険があるため、直ちに身の安全を確保 する。
	警戒レベル4 全員避難	危険な場所から全員避難 する。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難する。
	警戒レベル3 高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難 する。 その他の人も必要に応じ、危険を感じたら自主的に避難する。 ※ レベル3発令前でも、危険を感じたら自主的に避難 をする。
気象庁が発表	警戒レベル2 避難行動の確認	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの 避難行動を確認 する。
	警戒レベル1 心構えを高める	災害への心構えを高める。

自主的に非難する場合は、親戚や知人の家など安全な場所を事前に確保してください。
自主避難先の確保が困難な方のために、大阪市では「自主避難所」を開設する場合があります。

大阪市から避難情報を発令します

大阪市では、防災スピーカーや携帯電話・スマートフォンへの緊急速報メールなどにより、必要な場合に避難情報を発令します。

発令時の状況	警戒レベル3 高齢者等避難開始	警戒レベル4 全員避難	警戒レベル5 緊急安全確保
	◆ 人的被害の発生する可能性が高まった状況	◆ 人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況 ◆ 前兆現象の発生など人的被害の発生する危険性が非常に高い状況	◆ 既に災害が発生又は切迫している状況
皆さんに していただく 行動	◆ 避難に時間を要する人(高齢者、障がい者、乳幼児等)とその支援者は避難する。その他の人は、避難の準備を整える。	◆ 危険な場所から全員避難※する。避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難する。 ※避難先は、公的な避難場所に限りません。近くの家族や親戚、知人宅への避難について日頃から相談しておいてください。	◆ 命を守るための最善の行動をとる

避難情報の伝達手段

* 防災行政無線テレホンサービス(06-6210-3899※通話料有料)で確認できます。

携帯電話等	緊急速報メール、ホームページ、X、おおさか防災ネット、LINE、Yahoo!防災速報アプリなど
携帯電話以外	防災スピーカー(防災行政無線)*、ケーブルテレビの字幕放送・防災情報サービス(※利用料有料)、ガス警報器(※利用料有料)、テレビ、ラジオ、地元組織への連絡、広報車など

防災スピーカーのサイレン(警報音)パターン

緊急事態の種類	警報音パターン
テロやゲリラなど武力攻撃に関する警報 弾道ミサイル攻撃に関する警報	国民保護サイレン14秒吹鳴
大津波警報	サイレン 3秒吹鳴 3秒吹鳴 3秒吹鳴 2秒休止 2秒休止
津波警報	サイレン 5秒吹鳴 5秒吹鳴 6秒休止
警戒レベル4	サイレン 10秒吹鳴 10秒吹鳴 10秒吹鳴 10秒休止 10秒休止
警戒レベル5	サイレン 20秒吹鳴 20秒吹鳴 20秒吹鳴 10秒休止 10秒休止
緊急地震速報(震度5弱以上または長周期地震動階級3以上を予想した場合)	緊急地震速報チャイム音